

舟に乗って逝く
6/13 (金) グランドシネマサンシャイン池袋、アップリンク吉祥寺ほか全国順次公開



©2023 Fractal Star Film Production Co., Ltd., Infinitia Media Co., Ltd.

原題: 乘船而去 / 英語題: Gone with the Boat / 99 分 / 2023

監督・脚本・編集: チェン・シャオユー (陳小雨) / 出演: ユー・ジャオメイ (鞠婧祎)、リウ・ダン (劉丹)、ウー・ジョウカイ (吳洲凱) / 製作: ホアン・ファン (黃帆) / 撮影: ホアン・イーチュアン (黃一川) / 美術: ドン・シャオジェン (董曉珍) / 音楽: チェン・イン (張印) / 作曲: コーシジョン / 配給: ムヴィオラ、面白映画

水郷巡りの旅は日本でも魅力だが、私が04年に体験した烏鎮を含む江南8都市巡り(4泊5日39800円)のコスパは最高だった。浙江省には十大江南水郷古鎮があり、陳小雨監督の故郷・徳清もその一つだ。多くの運河では舟が生活の要だから、母は昔、舟で嫁入りした」ことにも納得！

舟に乗って嫁に来た母親は「舟に乗って逝く」のがベスト!?

一故郷の水郷の街を舞台に陳小雨監督が個人的な体験から重大な問題提起を！

私は母親の死亡と共に自宅もお墓もすべて処分し、「二分する」ことで故郷との縁を切ってしまったが、そこには当然さまざまな困難が。舟に乗って嫁に来た母親は「舟に乗って逝く」だけ。母はそう切り切っていたが、治療方針や今後の生活のあり方を巡って長女と弟の意見が対立した。仕方ない。余命宣告を受けたがん患者には痛みや費用は無視し、最新の治療で最大の延命を！それが米国流で競争を勝ち抜いてきた姉の正論だが、「この世の執着を手放し、無常を受け入れるべき」との弟の価値観も中国的で(？)詰てない。母親の価値観は弟寄りだから、母の看病に身を削る姉はやや劣勢だ。弁護士歴51年で76歳になった私は「昭和は遠くなり」にけり。日々実感しているが、さてどうすれば悔いのないよう逝けるのだろうか。ちなみに陳小雨は姉を体験！私はそう思い込んでいたが、意外にも陳小雨監督は？

新世紀ロマンティクス
Bunkamura ル・シネマ 渋谷宮下、新宿武蔵野館ほか絶賛上映中!



© 2024 X stream Pictures All rights reserved

監督: ジャ・ジャンクー
脚本: ジャ・ジャンクー、ワン・ジアファン
撮影: ユー・リクワイ、エリック・ゴティエ
音楽: リン・チャン
出演: チャオ・タオ、リー・チュウビン
パン・ジャンリン、ラン・チョウ、チョウ・ヨウ、レン・ク、マオ・タオ
2024 / 中国 / 中国語 / 1:1.85 / 111 分 / G
配給: ビターズ・エンド

買得た柳監督の『青の稲妻』(02年)を観たのは約20年前。「中国映画の全貌2004」で観た31本のうちの1本だ。改革開放政策が進み若者の感覚も激変した山西省の大同を舞台に、米国の反体制(?)を気取る19歳の男女の姿は如何に? それから20年、第六世代監督を代表する賈樟柯も54歳。彼のミューズ・趙涛も数回自らが、大同・三峡ダム・奉節・珠海を巡る趙の恋人を探る旅は如何に? 三峡ダムの建設は秦の始皇帝による大水路以上の巨大な国家事業。それに伴う古都の水没は悲劇だが、ミレニアムの開闢から現在までの中国の怒涛の変遷は如何に? 私の最初の中国旅行は01年の大連。以降20回以上の旅と中国の友人との濃密な交流の中で、私は中国の激変を肌感で吸収してきた。昨年6月の上海旅行では走行中の車すべてがビカビカのEVだ! しかし、コロナ禍で世界に類をみない「都市封鎖」を断行

コロナ禍を有効活用! 20年間のストック映像を再編集し、見事にドキュメンタリーとフィクションを融合! こりゃ必見!

したため、『長江哀歌』(06年)、『四川のうた』(08年)、『山河ノスタルジア』(15年)、『帰れない二人』(18年)と一貫して中国の激変を再観察・表現してきた映画作家も新作発表は不可能に? 否! 弁護士歴51年を終えた私は「がん」だった。『51年』を出版中だが、賈樟柯は旧作でコロナ禍で掘り起こしていた映像をフル活用して本作に挑戦! 私の大好きな傑作も『未完成の映画』で同様の挑戦をしたから、第六世代同監督の不屈の闘志はすごい。

ハルビン
新宿ピカデリーほか全国公開中



© 2024 CJ ENM Co., Ltd., HIVE MEDIA CORP. ALL RIGHTS RESERVED

製作: HIVE MEDIA CORP
監督: ウ・ミンホ
脚本: キム・キョンチャン、ウ・ミンホ
撮影: ホン・ギョンピョ
出演: ヒョンビン、パク・ジョンミン、チョ・ウジン、ジョン・ヨビン、パク・フン、ユ・ジェミョン、イ・ドンウク、リリー・フランキー、ジョン・ウソン (特別出演)
2024年/韓国/114分/カラー/シネマスコープ/5.1ch/原簿G / 字幕翻訳: 根本理想
原題/韓国語題: HARBIN
配給: KADOKAWA、KADOKAWA Kプラス

戒厳令の発令を契機とした尹錫悦の没落は早く、6月3日には左派の李在明、新大統領が誕生! すわ慰安婦問題を巡る日韓対立が再噴出? そんな心配は歴史認識よりも友好関係を重視する実用外交路線で試みだが、なぜ本作が韓国観客動員数4週連続第1位に?

日本の歩みと課題を問い直す契機となる 2025 年の夏、1909 年の伊藤博文暗殺事件の歴史的背景と新しい安重根像を考える!

り、万国公法で捕虜の森少佐を釈放するからビックリ! その代償の大きさが物語のキモになるが、同時にそれが祖国の独立を諦める年老いた娘の初代韓国統監暗殺の執念と生きがい! ハルビン水祭りはさきさき雪まつり以上に有名だが、水原を歩く安を映し出す冒頭の映像も美しい。次々と同志を失っていく安の「心の闇」は深い。歴史的な事件の裏側に焦点を当て、壮大なエンタメ作品に仕上げるウ・ミンホ監督の力量は「K CIA」南山の部長たち(2021年)等で実証済み。同志(密偵?)の即作戦(?)を含む極上の展開を楽しみながら、暗殺家への伊藤博文の登場と安重根の到着を待ちたい。厳戒体制の中で安が放った拳銃からの命懸けは?

中国奇譚
中国奇譚



原題: 中国奇譚 / 英語題: Yao-Chinese Folktales

2023年/81分/中国語音声/日本語字幕/カラー/シネスコ/5.1ch
監督: チェン・リャオユー (陳廖宇)
配給: 面白映画

近年の若年性難聴の急拡大はスマホでの動画の過剰摂取が原因。SNS上での偽情報も拡大も問題だが、長時間のイヤホン着用も大問題だ。老人にそれは無縁だが、宮崎駿の『千と千尋の神隠し』(01年)や細田守の『時をかける少女』(06年)等の名作アニメは大好き。片瀬真直の『この世界の片隅に』(16年)や高畑勲の『火垂るの墓』(88年)もお金の定着だ。丁寧な作図が不可欠なアニメでは自動車と同様モノづくりで長けた日本が世界一!

「ナタ 魔童の大暴れ(哪吒之魔童鬧海)」が中国歴代興行収入を塗り替えた今、老舗アニメスタジオ製作の「中国奇譚」4作が大公開!

のキングダム(23年)を観た時。そのスケール感と音響効果、ファンタジー溢れる物語の面白さに驚愕! 三国志モノ、始皇帝モノも面白いが、スマホ動画に慣れた若者は今、「封神モノ」と「哪吒モノ」に急接近!

熱血弁護士 坂和章平
中国映画を語る (97)



「映画を語る」シリーズをはじめ映画に関する著書多数。公社・日中友好協会、NPO法人大阪府日中友好協会理事。

(さかわ・しょうへい) 1949年愛媛県松山市生まれ。大阪大学法学部卒。都市開発に携わる訴訟を数多く手がけ、日本都市計画学会(石川賞)、同年に日本不動産学会「実務傑出賞」を受賞。「坂和章平の中国映画大観(2004年)」「二つのオアシス」并讀士。

熱血弁護士 坂和章平
中国映画を語る (98)



「映画を語る」シリーズをはじめ映画に関する著書多数。公社・日中友好協会、NPO法人大阪府日中友好協会理事。

買得た柳監督の『青の稲妻』(02年)を観たのは約20年前。「中国映画の全貌2004」で観た31本のうちの1本だ。改革開放政策が進み若者の感覚も激変した山西省の大同を舞台に、米国の反体制(?)を気取る19歳の男女の姿は如何に? それから20年、第六世代監督を代表する賈樟柯も54歳。彼のミューズ・趙涛も数回自らが、大同・三峡ダム・奉節・珠海を巡る趙の恋人を探る旅は如何に? 三峡ダムの建設は秦の始皇帝による大水路以上の巨大な国家事業。それに伴う古都の水没は悲劇だが、ミレニアムの開闢から現在までの中国の怒涛の変遷は如何に? 私の最初の中国旅行は01年の大連。以降20回以上の旅と中国の友人との濃密な交流の中で、私は中国の激変を肌感で吸収してきた。昨年6月の上海旅行では走行中の車すべてがビカビカのEVだ! しかし、コロナ禍で世界に類をみない「都市封鎖」を断行

熱血弁護士 坂和章平
中国映画を語る (99)



「映画を語る」シリーズをはじめ映画に関する著書多数。公社・日中友好協会、NPO法人大阪府日中友好協会理事。

り、万国公法で捕虜の森少佐を釈放するからビックリ! その代償の大きさが物語のキモになるが、同時にそれが祖国の独立を諦める年老いた娘の初代韓国統監暗殺の執念と生きがい! ハルビン水祭りはさきさき雪まつり以上に有名だが、水原を歩く安を映し出す冒頭の映像も美しい。次々と同志を失っていく安の「心の闇」は深い。歴史的な事件の裏側に焦点を当て、壮大なエンタメ作品に仕上げるウ・ミンホ監督の力量は「K CIA」南山の部長たち(2021年)等で実証済み。同志(密偵?)の即作戦(?)を含む極上の展開を楽しみながら、暗殺家への伊藤博文の登場と安重根の到着を待ちたい。厳戒体制の中で安が放った拳銃からの命懸けは?

熱血弁護士 坂和章平
中国映画を語る (100)



「映画を語る」シリーズをはじめ映画に関する著書多数。公社・日中友好協会、NPO法人大阪府日中友好協会理事。

近年の若年性難聴の急拡大はスマホでの動画の過剰摂取が原因。SNS上での偽情報も拡大も問題だが、長時間のイヤホン着用も大問題だ。老人にそれは無縁だが、宮崎駿の『千と千尋の神隠し』(01年)や細田守の『時をかける少女』(06年)等の名作アニメは大好き。片瀬真直の『この世界の片隅に』(16年)や高畑勲の『火垂るの墓』(88年)もお金の定着だ。丁寧な作図が不可欠なアニメでは自動車と同様モノづくりで長けた日本が世界一!